

<報道関係者各位>

すみだ北斎美術館 展覧会のご案内

開催期間 2021年2月9日(火)~4月4日(日)

筆魂 線の引力・色の魔力

The Soul of the Brush —the Line's Pull, the Color's Spell From Matabei to Hokusai and Kuniyoshi

—又兵衛から北斎・国芳まで—

すみだ北斎美術館では2021年2月9日(火)から4月4日(日)まで「筆魂 線の引力・色の魔力—又兵衛から北斎・国芳まで—」展を開催いたします。



展覧会名	ふでだまし 筆魂 線の引力・色の魔力—又兵衛から北斎・国芳まで—
会期	2021年2月9日(火)~4月4日(日)※一部展示替えを実施予定 前期 2021年2月9日(火)~3月7日(日) 後期 2021年3月9日(火)~4月4日(日)
休館日	毎週月曜日
開館時間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館
監修	内藤正人(慶應義塾大学文学部教授)
企画協力	株式会社江戸文物研究所
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/fudedamashi/

観覧料	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,200円	900円	900円	400円	400円	無料

※団体でのご来館は、当面の間、受付を行いません。
※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)もご覧になれます。

◀ 緊急事態宣言を受けた当館の対応についてのお知らせ ▶

すみだ北斎美術館は、墨田区の方針に従い、緊急事態宣言中も通常通り開館を継続いたします。

MARUGEN100(講座室)及び図書室は、当面のあいだ休業・休室を継続いたします。

MARUGEN100(講座室)利用及び団体観覧の、新規予約受付は当面のあいだ行いません。

※入館の際は、マスクの着用、手指の消毒等をお願いしております。

※遠方からの来館や、発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。

詳しくは、すみだ北斎美術館公式ホームページ「ご来館のお客様へ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止および予防にあたってご協力のお願い」(<https://hokusai-museum.jp/modules/Topic/topics/view/961>)をご確認ください。

なお、今後の状況を踏まえ、予告なしに開館期間・展覧会開催等を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。ご来館に際しては、ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

| 展覧会概要 |

浮世絵といえば版画が連想されますが、絵師が絵筆をふるった一点ものの**肉筆画**のほうが発生は古く、複雑で奥深い彩色技法や、描き手の筆づかいを直接感じることができます。本展では、浮世絵の先駆とされる**岩佐又兵衛**をはじめ、浮世絵の始祖である**菱川師宣**、**喜多川歌麿**、**東洲斎写楽**、**葛飾北斎**、**歌川国芳**などの60人に及ぶ浮世絵師の肉筆画約125点を展観します。**重要文化財**、**重要美術品**、**新発見**、**再発見**、**初公開作品**約40点を含む見どころ満載の展覧会です。浮世絵の源流である肉筆画を通して、300年に及ぶ浮世絵の歴史を体感いただくとともに、それぞれの絵師の巧みな線の引力、色の魔力、そして絵に宿る筆魂をご堪能いただけます。

| 構成と見どころ | 絵師の魂を感じる「肉筆画」のみが集結！

肉筆画の「肉」とは「生身」を意味し、錦絵や摺物といった浮世絵版画とは異なり、**絵師が絵筆で直接紙や絹に描くことを示します**。本展は浮世絵の中でも肉筆画のみを約125点あつめ、以下の構成で浮世絵の歴史を縦覧します。

◆ 章立て ◆

- 1章 浮世絵の黎明から18世紀前期まで
- 2章 浮世絵の繁栄
- 3章 幕末を彩る両袖 葛飾派と歌川派

◆ 出品浮世絵師ラインナップ(予定) ◆

岩佐又兵衛、菱川師宣、懐月堂安度、宮川長春、宮川一笑、奥村政信、川又常行、川又常正、鳥居清長、磯田湖龍齋、窪俊満、北尾政演、勝川春章、勝川春好、一筆斎文調、西川祐信、月岡雪鼎、祇園井特、鳥山石燕、喜多川歌麿、鳥文斎栄之、東洲斎写楽、歌川豊春、歌川豊広、歌川豊国、歌川国貞、歌川広重、歌川国芳、菊川英山、溪斎英泉、葛飾北斎、蹄齋北馬、魚屋北溪、安田雷洲、ほか、約60人

さらに、肉筆画一点一点を通して、**絵師たちの意志の赴くままの筆づかい**や、**面や点であらわされた色づかい**をお楽しみいただき、絵師たちが筆に込めた魂までも感じていただけます。

「1章 浮世絵の黎明から18世紀前期まで」から ～岩佐又兵衛・菱川師宣～



左 | 岩佐又兵衛「弄玉仙図」(旧 金谷屏風)【重要文化財】(前期) 摘水軒記念文化振興財団蔵、千葉市美術館寄託

右 | 岩佐又兵衛「龐居士図」(旧 金谷屏風)【重要美術品】(後期) 福井県立美術館蔵

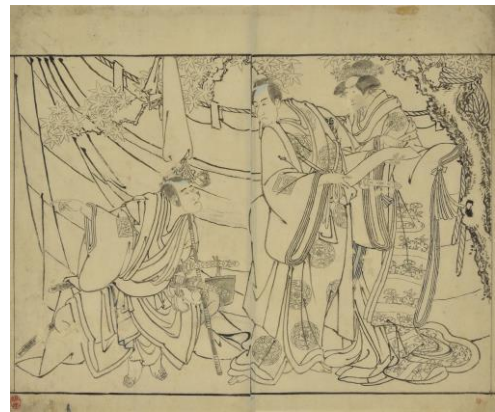
▶岩佐又兵衛「弄玉仙図」、「龐居士図」| 福井の豪商・金屋家に伝わった「金谷屏風」は、浮世絵の先駆・岩佐又兵衛によって描かれた六曲一双の屏風でしたが、現在は掛軸となって分蔵されています。本展ではそのうち「弄玉仙図」「龐居士図」の二幅を前後期にわけて展示します。重要文化財・重要美術品の展示は、すみだ北斎美術館初の試みです。



菱川師宣「二美人と若衆図」(前期)個人蔵、福井県立美術館寄託

▶菱川師宣「二美人と若衆図」| 浮世絵の始祖・菱川師宣の作品です。師宣は肉筆画・版本・版画の市場において活躍し、その美人画様式は菱川様といわれ人気を博しました。本作の人物の顔の描写からは天和年間(1681-1684)を中心とした師宣最盛期のスタイルが見とれ、着物の質感や柄は丹念に表現されています。

「2章 浮世絵の繁栄」から ～勝川春章・喜多川歌麿・東洲斎写楽～



左 | 勝川春章「竹林七妍図」(後期)東京藝術大学蔵、
中央 | 喜多川歌麿「夏姿美人図」(前期)遠山記念館蔵、
右 | 東洲斎写楽「中山富三郎・市川男女蔵・市川高麗蔵図」
(後期)摘水軒記念文化振興財団蔵、千葉市美術館寄託

▶左・勝川春章「竹林七妍図」| 優れた肉筆美人画で知られる勝川春章(北斎の師)の晩年の代表作です。7人の女性が円を描くように配置され、髪型や服装によってそれぞれの身分や立場が描き分けられています。女性の髪の艶やかな質感は艶墨を重ねて表現されています。

▶中央・喜多川歌麿「夏姿美人図」| 歌麿の寛政年間(1789-1801)の代表作のひとつで、夏の装いの女性が化粧をする様子が描かれています。黒い夏物の着物の下に、うっすらと透けて見える水色の襦袢までも描写されています。

▶右・東洲斎写楽「中山富三郎・市川男女蔵・市川高麗蔵図」| 人気歌舞伎役者たちによる舞台の一場面が描かれた絵本の版下絵と考えられ、写楽の筆線がわかる貴重な作品です。

「3章 幕末を彩る両袖 葛飾派と歌川派」から
～葛飾北斎・歌川国芳～

北斎の
肉筆画も
多数！

△ 初公開
▽



左から葛飾北斎「合鏡美人図」(前期)個人蔵、葛飾北斎「立美人図」(後期)個人蔵、葛飾北斎「登龍図」(前期)個人蔵

浮世絵師の中でも葛飾北斎は肉筆画の制作数が大変多いことが挙げられます。北斎は和漢洋などさまざまな画法を吸収し、和漢の古典伝説や動植物、神仏など非常に幅広い画題を手がけました。本展では、北斎とほかの絵師の意外な交流関係を示す新発見の作品や、初公開の作品など**北斎肉筆画も多数ご堪能いただけます。**

▶左・葛飾北斎「合鏡美人図」| 2つの鏡を両手で合わせ鏡にして、髻の具合を確かめる後ろ姿の美人が描かれた作品です。**実物の公開は本展が初の機会となります。**

▶中央・葛飾北斎「立美人図」| 吉原の花魁が贅をこらした豪華な着物を着て高下駄を履いて道中する姿が描かれています。戴斗期(北斎数え年 51～60 歳頃)の美人画の傑作です。

▶右・葛飾北斎「登龍図」| 晩年の北斎は龍の肉筆画を多く残していますが、その中でも出色の作品です。龍の体には胡粉によるハイライトや墨の濃淡がほどこされ、今にも画面から飛び出すような立体感を生んでいます。



歌川国芳「文読美人図」(後期)摘水軒記念文化振興財団蔵、千葉市美術館寄託

▶歌川国芳「文読美人図」| 女性は丸みのある輪郭線で描かれており、弘化～嘉永年間(1844-54)における国芳美人画の特徴がよくあらわれた作品です。とくに着物の柄や裏地の表現などに丁寧な彩色がほどこされています。



筆魂 線の引力・色の魔力

The Soul of the Brush —the Line's Pull, the Color's Spell From Matabei to Hokusai and Kuniyoshi

—又兵衛から北斎・国芳まで—

本展出品作品の中でも出色の、新発見、再発見の作品をご紹介します。
メディアにてご紹介いただける場合は、ページ下部の広報担当までお問い合わせください。

《新発見》「青楼美人繁昌図」

北斎とほかの絵師の意外な交流関係を示す作品



葛飾北斎、勝川春英、歌川豊国、勝川春扇、勝川春周、勝川春好「青楼美人繁昌図」(前期)個人蔵 ※右は部分図

葛飾北斎が、勝川春好、勝川春英など4名の勝川派絵師たち、そして歌川豊国とともに遊郭の女性たちと太鼓持ちを描いた作品です。

絵師のラインナップからは、北斎との不仲説が伝えられる勝川^{しんしょう}春章門下の兄弟子・春好、またライバルとしてよく取り上げられる歌川派の総帥で役者絵の人気絵師・歌川豊国との意外な交流関係がうかがえます。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

《新発見》 歌川豊国「三代目中村歌右衛門の九変化図屏風」



歌川豊国「三代目中村歌右衛門の九変化図屏風」(前期)個人蔵

三代目中村歌右衛門による「変化舞踊」の様子が八面に渡って描かれた屏風です。よくみると、右から3扇目は2種の舞踏が描かれており、合計9種の役を描いています。それぞれの特徴を鮮やかな彩色で描き分けながらも均整のとれた人物構図によって表現されており、豊国の肉筆画の技量を示す作品です。

《再発見》 喜多川歌麿「隈取する童子と美人図」



喜多川歌麿「隈取する童子と美人図」(後期)個人蔵

桜の枝の下、隈取りをする子どもたちと、その光景を微笑ましく眺める女性が描かれています。女性は享和期(1801-1804)の歌麿の特徴である瓜実顔の美人です。本作は前回の東京オリンピック以来行方不明でしたが、近年再発見された作品です。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

| 関連イベント |

講演会 「浮世絵の絵画=肉筆画 その美と芸術」		講演会 「北斎 肉筆画に筆魂を懸けた絵師」	
日時	3月6日(土) 14:00~15:30(開場 13:30)	日時	3月20日(土・祝) 14:00~15:30(開場 13:30)
講師	内藤正人(慶應義塾大学文学部教授 本展監修者)	講師	奥田敦子(すみだ北斎美術館主任学芸員)
会場	MARUGEN100(講座室)	会場	MARUGEN100(講座室)
定員	30名	定員	30名
料金	無料(但し、観覧券または年間パスポートが必要です)	料金	無料(但し、観覧券または年間パスポートが必要です)

スライドトーク 企画展「筆魂展」の見どころ	
日時	2月20日(土)、3月27日(土) 各 14:00~14:30(開場 13:30)
講師	奥田敦子(すみだ北斎美術館主任学芸員)
会場	MARUGEN100(講座室)
定員	30名
料金	無料(但し、観覧券または年間パスポートが必要です)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

| 入館方法のご案内 |

当館では、新型コロナウイルス感染症の感染・拡散を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、以下のお願いがあります。ご来館前に必ずご一読いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、当館では入館のための日時指定予約を行っておりません。ご希望の日時にお越しください。館内・展示室内・ミュージアムショップ内が混雑し、一定の人数を超えた場合は入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

なお、今後予告なしに展覧会の会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

| ご来館のお客様へのお願い |

- 遠方からの来館や、発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。
- **入館前検温**
非接触型体温計を使用いたします。検温の結果 37.5℃以上の発熱が確認された場合は、入館をご遠慮ください。咳・のどの痛み・発熱・倦怠感などの症状があるお客様は入館をお控えください。
- **手指消毒**
＜ご入館前＞
入口にアルコール消毒液を設置しています。ご入館時には消毒液にて手指の消毒をお願い致します。消毒のご協力が難しい際は、入館をご遠慮いただく場合がございます。

＜ご観覧前/後＞
4 階の AURORA(常設展示室)にはタッチパネルがあります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。
- **マスク着用**
館内ではマスク着用を必ずお願いいたします。咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」(マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかりと覆う)にご協力ください。
- **観覧券保管**
入館日の確定のため、観覧券半券はお持ち帰りの上、保管をお願いいたします。
- **入場制限**
館内滞在人数によっては、入館制限、展示室の入場制限、ミュージアムショップの入場制限を実施することがあります。
- **エレベーター定員**
エレベーターの定員を 2 名に制限しております。ご家族や介助者の方は同時にご利用いただけます。
- 展示室内での会話はお控えください。
- 展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。

| すみだ北斎美術館の感染予防対策 |

- お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は 1 日 4 回の消毒作業を実施しております。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないため乾拭きのみ実施しております。
- お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。
受付・ショップにウイルス飛沫予防のパネルを設置しております。
- 良好な館内環境を保つため、入館制限やお声掛けを行う場合がございます。
- 図書室、MARUGEN100(講座室)は当面のあいだ閉室いたします。
- 新規の団体ご予約、MARUGEN100(講座室)ご利用受付は当面の間中止いたします。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

「筆魂 線の引力・色の魔力ー又兵衛から北斎・国芳までー」
展覧会広報用 作品画像請求用紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

《 画像貸出に関して注意事項 》

- ・ 画像を使用の際には、以下のクレジット全文(作家名・作品名・展示期間・所蔵先)の表記が必須となります。
- ・ 画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・ 画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・ 画像は全図でご掲載ください(部分図のみの使用は不可となります)。
- ・ ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・ 展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

1. 菱川師宣「二美人と若衆図」(前期)個人蔵、福井県立美術館寄託

2. 東洲斎写楽「中山富三郎・市川男女蔵・市川高麗蔵図」(後期)摘水軒記念文化振興財団蔵、千葉市美術館寄託

3. 葛飾北斎「合鏡美人図」(前期)個人蔵

4. 葛飾北斎「立美人図」(後期)個人蔵

5. 葛飾北斎「登龍図」(前期)個人蔵

6. 歌川国芳「文読美人図」(後期)摘水軒記念文化振興財団蔵、千葉市美術館寄託

※1～6 以外の作品の紹介についてはページ下部の広報担当まで問い合わせください。

貴社名
貴媒体名
部署名 (役職名)
ご芳名
ご連絡先 TEL FAX E-mail
ご掲載・放送予定 月 日
備考 ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

COMING SOON !

展覧会名	しりあがりサン北斎サン ークスツと笑える SHOW TIME ! ー
会期	2021年4月20日(火)~6月27日(日)※一部展示替えを実施予定
休館日	毎週月曜日 ※開館 5月3日(月・祝)、閉館 5月6日(木)
開館時間	9:30~17:30(入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館

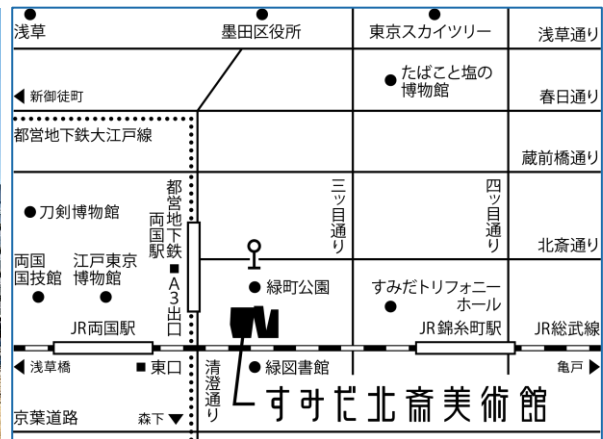
美術館概要

美術館名	すみだ北斎美術館 (英 The Sumida Hokusai Museum)
開館時間	9:30~17:30 (入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、 年末年始(12月29日~1月1日)
所在地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/
Twitter	https://twitter.com/HokusaiMuseum/
Facebook	https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
YouTube	https://www.youtube.com/channel/UC2ywKcxhYowjfoAk2LflRg
アクセス	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分

※ご来館の際は、美術館公式ホームページで最新の開館予定をご確認ください。



撮影 | 尾鷲陽介



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館